



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 アルコニックス株式会社

コード番号 3036 URL <http://www.alconix.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 正木 英逸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務本部長

(氏名) 宮崎 泰

TEL 03-3596-7400

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	47,803	△13.0	1,014	△56.0	1,277	△48.4	736	△46.0
24年3月期第1四半期	54,943	45.5	2,307	196.5	2,478	195.4	1,363	177.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 714百万円 (△48.4%) 24年3月期第1四半期 1,384百万円 (392.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	115.86	115.37
24年3月期第1四半期	214.69	212.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	67,153	14,502	21.0
24年3月期	68,600	14,020	19.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,090百万円 24年3月期 13,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,500	△5.4	2,300	△27.2	2,200	△37.0	1,300	△33.8	204.62
通期	205,000	△7.1	3,900	△16.8	3,700	△17.8	2,200	△10.2	346.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,353,200 株	24年3月期	6,353,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	87 株	24年3月期	87 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,353,113 株	24年3月期1Q	6,349,656 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題の不透明感が強い中、牽引役である米国が緩い回復にとどまり、もう一方の牽引役であった中国、インド等新興国においても国内需要及び輸出の減少等により減速傾向で推移いたしました。

わが国経済は、復興需要に牽引される形で緩やかな回復傾向が続きましたが、その活動水準は低水準にとどまっております。

当社グループを取巻く非鉄金属業界におきましては、主要需要先のうち自動車業界がエコカー補助金の影響で堅調な一方、家電・IT産業などは需要が低迷する中で在庫調整局面が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの売上面においては、自動車向けアルミ再生塊、磁性材料用レアアース、スマートフォン等向け電池包材、及び欧州向けチタン・ニッケル製品の取扱い等が増加いたしました。一方で家電、IT産業向け需要の減少により銅管、銅条などの伸銅品のほか、前年同四半期に出荷が集中したレアアースの軽希土類及びタングステンなどのレアメタル等が前年同期比で大きく落ち込みました。利益面においては、レアメタル・レアアース等利益率が高い取扱いの減少と、国内連結子会社の収益減少により減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高47,803百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益1,014百万円（同56.0%減）、経常利益1,277百万円（同48.4%減）、四半期純利益736百万円（同46.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

・軽金属・銅製品事業

家電・IT産業の不振により通信、液晶、半導体向け取扱いが減少し、また二輪分野の売上も欧米景気の低迷を反映し低水準にとどまりました。一方、エコカー補助金を背景とした自動車、及び長いトンネルを抜け出た感のある建築分野はおしなべて堅調に推移いたしました。利益面では国内連結子会社における伸銅品の販売及び半導体・液晶製造装置用部品などの販売落ち込みもあり減益となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は16,169百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益は208百万円（同51.6%減）となりました。

・電子・機能材事業

電子材料分野の需要動向は、スマートフォン、タブレット端末関連の需要増が際立つ一方、その他の分野では、総じて弱含みとなっています。欧州向け化学プラント及び船舶向けチタン・ニッケル製品の輸出取引においては、当第1四半期連結累計期間は堅調であったものの、新規引き合いは景気後退の影響を受けて減少しております。また中国電力プラント向けチタン製品の輸出も、電力の潜在需要はあるものの、プロジェクトの見直し等々が入り、先行きが不透明な状況となっております。

一方、レアメタル・レアアースにおいては、自動車関連需要が比較的堅調に推移したものの、家電、電子材料向け需要の低迷により販売量は大きく落ち込みました。特に前連結会計年度に出荷が集中したレアアースにおいては市況が大幅に下落した上、国内主要取引先において在庫調整が続いていることから売上は前年同期に比べ大きく減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は24,145百万円（同15.0%減）、セグメント利益は1,021百万円（同48.5%減）となりました。

・非鉄原料事業

非鉄原料の主たる需要先である自動車産業の増産により、アルミ輸入再生地金などの販売が回復いたしました。これに加えて、銅屑、鉄鋼用脱酸材料、軽金属圧延用のマグネシウム地金の販売も堅調に推移し、前年同期比で取扱いが増加いたしました。しかしながら化学品用金属珪素は、需要家の最終製品の販売低迷に伴う在庫調整がなされたことから売上が減少しました。またアルミ・銅市況は期中を通して軟化傾向を続け、収益圧迫要因となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は6,399百万円（同6.5%増）、セグメント利益は21百万円（同21.4%減）となりました。

・建設・産業資材事業

当セグメントにおいては、前年同期は、東日本大震災直後の建設産業資材の全般的な入荷不安による仮需で大幅売上増となりましたが、当第1四半期連結累計期間は、円高継続による輸出産業の不振、欧州金融危機問題のグローバル経済への悪影響、復興・復旧需要の遅れ、民間設備投資の低迷等による国内景気の先行き不透明感から、配管機材類の需要は低迷し荷動きも停滞しました。またアジア、中東諸国向け配管機材、及び銅合金素材の海外取引も全体として低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は2,874百万円（同18.8%減）、セグメント利益は25百万円（同28.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

a. 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は59,873百万円であり、前連結会計年度末比2,556百万円の減少となりました。主な内訳は現金及び預金の減少126百万円、受取手形及び売掛金の増加604百万円、及びたな卸資産の減少2,954百万円であります。

b. 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は7,280百万円であり、前連結会計年度末比1,119百万円の増加となりました。主な内訳は国内連結子会社における設備投資に伴う有形固定資産の増加44百万円、及び持分法適用関連会社株式の取得等に伴う投資その他の資産の増加1,082百万円であります。

c. 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は46,731百万円であり、前連結会計年度末比1,766百万円の減少となりました。主な内訳は取引の減少に伴う支払手形及び買掛金の減少2,851百万円、及び短期借入金金の増加2,061百万円であります。

d. 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は5,920百万円であり、前連結会計年度末比162百万円の減少となりました。主な内訳は流動負債へ振替えたことに伴う長期借入金の減少193百万円であります。

e. 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は14,502百万円であり、前連結会計年度末比481百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加527百万円、その他有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少139百万円、及び為替換算調整勘定の増加133百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

主な売上高の増加要因は、自動車エンジン部品用アルミニウム再生塊、半導体向け銅屑の国内取引とチタンスポンジの輸入取引であり、また自動車向け非鉄金属素材、欧州向け化学プラント等のチタン・ニッケル製品等の輸出取引の増加であります。一方、主な減少要因は二次電池材料向けニッケル粉末、及びレアメタルの取引減少であります。特にレアアースにおいては前連結会計年度において出荷が一時的に急増したこと、及び主要取引先における在庫調整の影響により取引が減少したことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比13.0%減の47,803百万円となりました。

b. 売上総利益

利益率の高いレアメタル・レアアースの取扱い減少、及び国内連結子会社での半導体向け需要の落ち込みの影響により収益が減少したことから、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比31.8%減の2,442百万円となりました。

c. 販売費及び一般管理費

人件費及びオフィス移転等の一時的な費用増加に伴い、当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比12.1%増の1,428百万円となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比56.0%減の1,014百万円となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

当第1四半期連結累計期間に株式取得した上海龍陽精密複合銅管有限公司の収益の見合い部分を持分法による投資利益として計上し、また外貨建決済取引に係る為替差益が増加したこと等から、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は263百万円の収入となりました（前年同期は170百万円の収入）。

f. 経常利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比48.4%減の1,277百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

少額の固定資産売却益を特別利益として計上する一方、オフィス移転に伴う固定資産除却損、及びその他移転費用等の合計1百万円を特別損失に計上いたしました。

h. 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益1,276百万円から法人税等510百万円、国内及び海外連結子会社3社における少数株主利益29百万円を差引き、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は前年同期比46.0%減の736百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成24年5月15日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,607	10,480
受取手形及び売掛金	31,778	32,383
商品及び製品	18,617	15,661
仕掛品	57	57
原材料及び貯蔵品	19	20
その他	1,616	1,561
貸倒引当金	△256	△291
流動資産合計	62,440	59,873
固定資産		
有形固定資産	3,224	3,268
無形固定資産		
のれん	14	11
その他	287	283
無形固定資産合計	301	294
投資その他の資産	2,634	3,717
固定資産合計	6,160	7,280
資産合計	68,600	67,153
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,896	24,045
短期借入金	15,132	17,193
1年内返済予定の長期借入金	2,412	2,502
1年内償還予定の社債	400	400
未払法人税等	1,352	479
賞与引当金	596	770
その他	1,707	1,340
流動負債合計	48,498	46,731
固定負債		
社債	1,400	1,400
長期借入金	3,803	3,610
退職給付引当金	238	246
役員退職慰労引当金	124	132
長期未払金	60	84
その他	455	446
固定負債合計	6,082	5,920
負債合計	54,580	52,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,830	2,830
資本剰余金	1,872	1,872
利益剰余金	9,208	9,736
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,912	14,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41	△180
繰延ヘッジ損益	△41	△90
為替換算調整勘定	△211	△77
その他の包括利益累計額合計	△294	△349
新株予約権	43	43
少数株主持分	359	368
純資産合計	14,020	14,502
負債純資産合計	68,600	67,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	54,943	47,803
売上原価	51,361	45,361
売上総利益	3,581	2,442
販売費及び一般管理費	1,273	1,428
営業利益	2,307	1,014
営業外収益		
受取利息	1	1
仕入割引	6	5
受取配当金	27	19
為替差益	219	240
不動産賃貸収入	12	11
持分法による投資利益	—	51
その他	16	22
営業外収益合計	285	353
営業外費用		
支払利息	75	59
売上割引	8	2
手形売却損	12	12
不動産賃貸原価	3	3
その他	14	11
営業外費用合計	115	90
経常利益	2,478	1,277
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
本社移転費用	26	—
事務所移転費用	—	0
特別損失合計	26	1
税金等調整前四半期純利益	2,452	1,276
法人税等	1,034	510
少数株主損益調整前四半期純利益	1,418	765
少数株主利益	55	29
四半期純利益	1,363	736

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,418	765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△139
繰延ヘッジ損益	△24	△49
為替換算調整勘定	31	62
持分法適用会社に対する持分相当額	—	75
その他の包括利益合計	△34	△51
四半期包括利益	1,384	714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,329	681
少数株主に係る四半期包括利益	55	33

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	18,596	28,037	5,877	2,431	54,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	167	364	128	1,109	1,769
計	18,763	28,402	6,006	3,540	56,712
セグメント利益	430	1,984	27	35	2,477

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,477
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の経常利益	2,478

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	16,098	23,157	6,240	2,307	47,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	987	159	567	1,784
計	16,169	24,145	6,399	2,874	49,588
セグメント利益	208	1,021	21	25	1,277

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,277
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の経常利益	1,277

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。